

自動走行システム・システム実用化WG（第21回）議事要旨

1. 日時 平成27年4月22日（水）10:00～12:00

2. 場所 合同庁舎8号館623会議室

3. 出席者：

(副主査) 葛巻 清吾	トヨタ自動車株式会社 CSTO 補佐
内村 孝彦	ITS-Japan 理事
鶴浦 清純	株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員
金光 寛幸	トヨタ自動車株式会社 情報電子システム開発部 主査
柴田 英司	富士重工業株式会社車両研究実験第4部主幹
白土 良太	日産自動車株式会社 E ^レ リティ・サービス研究所 主任研究員
前川 誠	日本電気株式会社パブリックシステムエレクトロニクス部 E ^レ キパート
山本 康典	マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長
市川 類	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官（代理：内藤博道）
加藤 伸宏	警察庁 長官官房 参事官
森下 信	総務省 総合通信基盤局新世代移動通信システム推進室 室長
吉田 健一郎	経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術 ITS 推進室 室長
山本 巧	国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長
久保田 秀暢	国土交通省 自動車局 技術企画室 室長

(自動走行システム推進委員会)

岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
加藤 晋	産業技術総合研究所 知能システム研究部門 研究グループ長
川本 雅之	トヨタ自動車技術統括部 主査
片原 尚俊	富士通株式会社 シニアエキスパート
清水 和夫	自動車ジャーナリスト
永井 正夫	日本自動車研究所 所長
福島 正夫	日産自動車 環境・安全技術渉外部 技術顧問

(事務局)

田沼 知行	内閣府 科学技術・イノベーション担当企画官
山本 剛司	内閣府 科学技術・イノベーション担当

4. 議題

1. 平成26年度 衛星測位活用に向けた基礎評価に関する調査成果報告
2. 歩行者事故低減シナリオ検討 SWG 中間報告
3. 平成26年度成果・平成27年度施策概要
交通事故死者低減効果見積もり解析手法に係わる調査検討
4. CityMobil2 試乗及び1st Workshop への参加報告・国際連携 Workshop の進め方

5. 配付資料

資料21-1	衛星測位活用に向けた基礎評価に関する調査成果報告	【非公開資料】
資料21-2	歩行者事故低減シナリオ検討 SWG 中間報告	【非公開資料】
資料21-3-1	平成26年度交通事故死者低減効果見積もり 解析手法に係わる調査検討報告	【非公開資料】
資料21-3-2	平成27年度交通事故死者低減効果見積もり 解析手法に係わる調査検討施策概要	【非公開資料】

資料 2 1 - 4 - 1 フランス・ラ ロッシュレ出張報告

【非公開資料】

資料 2 1 - 4 - 2 Estimation of Benefits for Automated Vehicle Systems

【非公開資料】

6. 議事要旨

1. 平成 26 年度 衛星測位活用に向けた基礎評価に関する調査成果報告

○ 資料 21-1 に基づき、説明と議論があった。

2. 歩行者事故低減シナリオ検討 SWG 中間報告

○ 資料 21-2 に基づき、説明と議論があった。

3. 交通事故死者低減効果見積もり解析手法に係わる調査検討

○ 資料 21-3-1・2 に基づき、事務局より説明があった。

4. CityMobil2 試乗及び 1st Workshop への参加報告・国際連携 Workshop の進め方

○ 資料 21-4-1・2 に基づき、説明と議論があった。

5. その他

○ 次回は 5 月 13 日の予定。

以上